



## 創作者向け利用ガイド

部活動・サークル活動に所属する女子大学生ペルソナ集を「人物描写資料」として使う方法  
創作において人物を魅力的に見せるためには、その人物が何を考え、何を大切に、どのような毎日を過ごしているのかを感じさせることが重要です。しかし実際の創作では、「部活動に所属している女子大学生」という設定だけが存在し、その人物の価値観や行動原理まで描かれていないことが少なくありません。

この部活動・サークル活動に所属する女子大学生ペルソナ集は、そうした人物像を立体的に描くための創作補助資料です。

この資料には、単なるプロフィールだけではなく、性格、人間関係、恋愛観、価値観、過去の経験、将来への不安、行動原理などが整理されています。つまり、「この人物がどのような感覚で毎日を生きているのか」を考えるための材料として利用できます。

部活動やサークル活動は、大学生活のなかでも特に人間関係が濃くなりやすい環境です。同じ目標に向かって努力する仲間、競争相手となるライバル、尊敬する先輩、頼られる後輩など、多くの人間関係が生まれます。そのため、部活動やサークル活動に所属する人物には、それぞれ特有の価値観や行動パターンが形成されやすくなります。

例えば、勝敗や結果を重視する競技系の部活動もあれば、作品制作や表現活動を重視する文化系サークルもあります。また、仲間との協力を大切にする人もいれば、自分自身の表現や成長を追求する人もいます。

創作で人物が薄く見える原因の一つは、「肩書きだけで人物を作ってしまうこと」です。

例えば、

- ・運動部だから元気
- ・文化部だからおとなしい
- ・芸術系だから個性的

というような単純な分類だけでは、人間らしさは生まれません。

実際には、明るく見える人が孤独を抱えていたり、静かな人が強い闘争心を持っていたりします。自信に満ちているように見える人が将来に不安を抱えていることもあります。

人物にリアリティが生まれるのは、そうした矛盾や揺れが描かれたときです。

この資料は、その「揺れ」を描くために利用してください。

また、この資料は「実在する女子大学生を分析した資料」ではありません。

創作的要素を含みながら、「こういう人物像はいそうだ」と感じられるリアリティを目指して構成された人物資料です。そのため、統計データや学術資料として利用するものではなく、創作における人物描写の補助資料として利用してください。

創作で重要なのは、「現実をそのまま再現すること」ではなく、「現実らしく感じさせること」です。

例えば、



## ペルソナ図鑑

- ・なぜその部活動が続けているのか
- ・なぜ仲間を大切にするのか
- ・なぜ恋愛に慎重なのか
- ・なぜ夢を追い続けるのか

といった感情の理由が見えてくると、人物は急激に立体化します。

特に、青春小説、恋愛小説、漫画、ドラマ、映画、ゲームシナリオ、舞台脚本など、人間関係や感情の変化を描く作品では、この違いが大きく表れます。

また、この資料は主人公だけでなく、友人、ライバル、先輩、後輩、恋愛相手などの脇役作成にも役立ちます。短時間しか登場しない人物であっても、その人物らしい価値観や行動原理があるだけで、作品世界には厚みが生まれます。

さらに、この資料には成功体験だけでなく、失敗体験や将来不安、性格的な弱点も含まれています。

創作初心者ほど、「魅力的な人物」を作ろうとして欠点を消してしまいがちです。しかし読者が共感するのは、迷いや弱さを抱えながら前に進もうとする人物です。

部活動やサークル活動に打ち込む女子大学生たちもまた、夢、友情、恋愛、進路、人間関係など、さまざまな悩みを抱えながら日々を生きています。その不完全さこそが、人間らしさにつながります。

そして重要なのは、この資料をそのまま使わないことです。

この資料は完成済みキャラクター集ではありません。人物を考えるための素材集です。複数の人物像を組み合わせたり、一部だけを参考にしたりしながら、自分なりの人物像を作り上げてください。

この部活動・サークル活動に所属する女子大学生ペルソナ集は、「部活動設定資料」ではなく、「青春を生きる若者たちを立体的に描くための創作補助資料」として利用してください。